神宮寺小学校
理科室通信
第51号

理科室からこんにちは

〜　親子で理科を楽しもう　〜

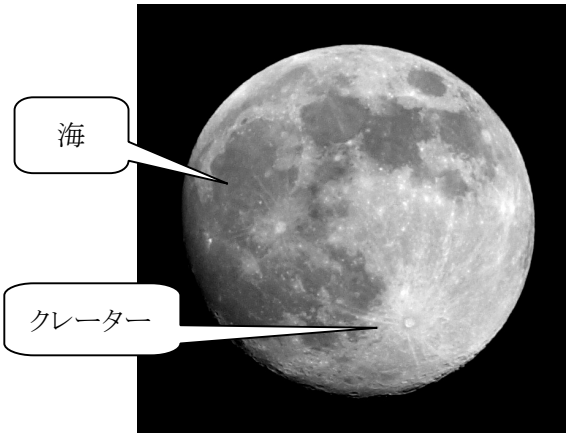
平成21年9月7日

〜　お月様の話　〜

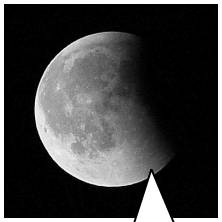
「お月様きれいねえ。」
「そうだねえ。」
「ねえねえ。お月様って，お星様ともなんかちがうし，いったいなにものなの？」
「何者って…，お月様はお月様だよ。月讀（ツクヨミ）という神様だ。」
「んー，もう。そうじゃなくて，『お月様』じゃなく『月』について教えて。」
「なるほど，まってました。これを見てごらん。」

地球　　月

「左の円が地球だとすると，月の大きさは右のこれくらい。地球よりだいぶ小さいんだね。直径で地球の$\frac{3}{10}$よりちょっと小さいくらいだ。そして，この図のくらい地球と離れているんだ。どちらも宇宙にうかんでいるんだよ。」
「へー，すごーい。」（用意いいなあ。この図をもってお月見していたの？）
「月は自分から光は出していなくて，太陽の光を反射して光ってみえるんだ。うさぎさんが見えるように暗いところがあるだろう。そこは海と言われているんだよ。実際に水はないけどね。そして，月に落ちてきたもの（隕石や彗星，小惑星など）との衝突のあとがあるんだ。クレーターと呼ばれているよ。そんな地球の兄弟星が，月なんだ。」



「これから中秋の名月（10月3日）や栗名月（10月30日）もあるから，お月見が楽しみだね。
『天にます　月讀壮士　幣はせむ　今宵の長さ　五百夜継ぎこそ』だな。」　（あめにます　つくよみをとこ　まいはせむ　こよいのながさ　いほよつぎこそ）
「お団子もね。用意しないと，月にかわっておしおきよ。」
「せっかく風流に，万葉の和歌を詠んだのに。まったく，月より団子だな，こりゃ。」



おまけ　月食
2007.8.28